

理想とされた人の姿

中国唐代の大富豪・龐居士は、仏の教えを知り、財宝を湖に沈めてしまいます。その娘・靈照女も、父と同じく仏の道をよく理解し、竹籠を売って家計を支えました。



親孝行の娘

【靈照女図】室町時代15〜16世紀 後期
Ling Zhao-nu

知識人ならこれを身につけよ!



狩野尚信「琴棋書画図屏風」右隻部分 江戸時代(17〜18世紀) 前期
The Four Elegant Pastimes. By Kano Tsurenobu

琴棋書画とは、中国の知識人が身につけるべき四つの教養で、弦楽器・琴を演奏し、碁を打ち、書物を読み、書や絵をたしなむことです。この場面は琴の演奏と碁を楽しむ様子を描いています。

夏休み丸の内ご近所企画

三菱一号館美術館 & 静嘉堂文庫美術館をめぐろう! チケット

イベント期間: 7/19(土)~8/31(日)
2館入館券: 3600円(400円お得)

両館でノベルティをプレゼント

2カ所をめぐって教科書で見た有名人や画家に会いに行こう!

静嘉堂文庫美術館では聖徳太子や中臣鎌足が登場する作品、三菱一号館美術館ではルノワールとセザンヌの作品が展示室でお待ちしています。

夏休みは親子で美術館へ

1

謎解きワークシート

お子様と一緒に楽しく鑑賞するためのワークシートをご用意しています。展示室で「神仏と人物」のナゾに挑戦してみよう!

2

親子で楽しむギャラリートーク

学芸員がお子様向けにわかりやすくお話をしながら展示室をご案内します。夏休みの自由研究のヒントがあるかも!?

日時: 8月3日(日) 13:00~13:30 集合場所: 当館ホワイエ

*いずれも参加無料 *小学生以下のお子様は保護者の付き添いが必要
*高校生以上、付き添いの大人は当日の入館券が必要

ギャラリートーク 日時: 7/10(木) 12:30~13:00
7/23(水) 18:30~19:00
8/21(木) 12:30~13:00
集合場所: 当館ホワイエ
*参加無料、当日の入館券が必要



[交通案内] 当館に専用駐車場・駐輪場はございません。
■地下鉄千代田線 二重橋前(丸の内)駅3番出口直結
■JR東京駅 丸の内南口より徒歩5分
■JR有楽町線 国際フォーラムより徒歩5分
■大手町・丸の内・有楽町地区を結ぶ無料巡回バス「丸の内シャトル」で「明治安田ヴィレッジ・静嘉堂」下車すぐ

ナビゲーター
声優 半場友恵さん
ご利用料金
音声ガイド 1名様1台700円(税込)



毎週木曜日はトークフリーデー

作品について、声の大きさを気にせず話しながら鑑賞いただけます。お子連れの方にもおすすめです。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催記念
修理後大公開!
静嘉堂の重文・国宝・未来の国宝
2025年 10月4日(土)~12月21日(日)

静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階
TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル) <https://www.seikado.or.jp>

Introduction to Painting:
A Guide to the Wonderful World of Gods, Buddhas, and Humans

静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

よくわかる
神仏
と
人物
の
謎
ギ

絵画入門

重要美術品「春日宮尊徳」南北朝時代(14世紀)部分【後期】 Designated Important Art Object, Mandala of Kasuga Shrine(detail)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階
<https://www.seikado.or.jp>
TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)

2025年
7.5(土) → 9.23(火) (火祝)

開館時間 10:00~17:00 ※入館は閉館の30分前まで
※第4水曜日(7月23日、8月27日)は午後8時まで、
9月19日(金)、9月20日(土)は午後7時まで開館

休館日 月曜日(ただし、7月21日、8月11日、9月15日、22日は開館)
7月22日(火)、8月12日(火)、9月16日(火)

入館料 一般1,500円 大高生1,000円 中学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方700円(同伴者1名無料)

前期: 7月5日(土)~8月11日(月・祝)
後期: 8月13日(水)~9月23日(火・祝)
※作品は前後期でほぼ入れ替え

毎週木曜日は
トークフリーデー

日時指定予約優先
当日券も
あります
予約はこちらから▶

主催 | 静嘉堂文庫美術館(公益財団法人 静嘉堂)

高貴な人の姿



隠れているのは誰？

平安時代末の承安年間(1171~75)に行われた五節会を描いた「承安五節絵」という絵巻物を屏風に写した作品です。この場面では、高倉天皇が儀式をご覧になるためにお出ましになる様子を描いています。本展初公開。

「大内図屏風」左隻(承安五節絵隻)部分 江戸時代(17~18世紀) 後期
The Gosechi Ceremony held at Imperial Court, from the Scenes of Annual Functions (detail)

この人こんな顔だった？
三十六歌仙の一人・源公忠(八八九~九四八)を描いた作品です。一見、本人の特徴を写しとったような個性的な顔ですが、実は想像で描かれたもの。鎌倉時代に隆盛した似絵と呼ばれる肖像表現を取り入れて描かれています。



「兼兼本三十六歌仙絵 源公忠」鎌倉時代(14世紀) 前期
The Poet Minamoto no Kintada, from the "Narikane Version" of Thirty-Six Immortal Poets



鎌足と海女 vs 八大竜王

『大織冠』は中臣(藤原)鎌足と八大竜王の玉取り合戦を描いた幸若舞の人気の演題です。鎌足の命を受けた海女が、竜王から宝珠を取り戻すというストーリーです。

「大織冠」鎌足と海女 江戸時代(17世紀) 後期
The Tale of Rashokan (The Great Woven Crown)

人物と神仏

よくわかる 絵画入門

古美術のなかの神さま、仏さま、そして人の姿に注目する絵画の入門展です。やまと絵に描かれた高貴な人々、仏画や垂迹画に表された神仏、禅宗に関係した人々を中心に愛好された仏教や道教にまつわる人物を描いた道釈画などをとりあげます。

「この人は誰?」「このポーズの意味は?」「何をしているところ?」——神仏と人物が表されるとき約束事や背景にあるストーリーを紐解きながら、やさしくご紹介します。

フシギがいっぱい! 聖徳太子の生涯



重要文化財「聖徳太子絵伝」第一編 鎌倉時代(14世紀) 前期
Important Cultural Property, Illustrated Biography of Prince Shotoku



聖徳太子をめぐる様々な奇跡を太子の伝記に基づいて描いています。11歳の時に一緒に遊んでいた36人の子どもが同時に話した内容を聞き分けたり、空中を飛んだりしたなど超人的な逸話がたくさん伝わっています。

伝説になった人

行動容貌奇々怪々



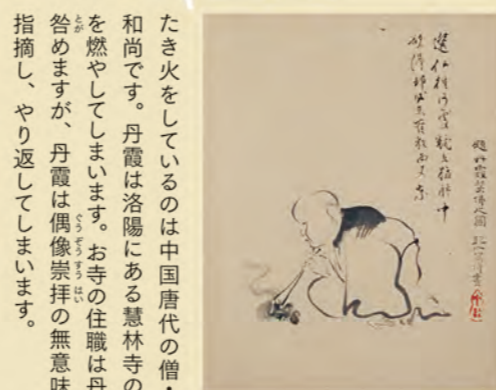
重要文化財「牧図」のうち「蝦蟇鉄拐図」室町時代(16世紀) 後期
The Daoist Immortals Xiamo and Tieguai

右に鉄拐仙人、左に蝦蟇仙人を描いています。二人は中国の仙人で、鉄拐仙人は、空に向かって勢いよく息を吹きだし、自分の魂を飛ばしています。蝦蟇仙人は、三本足のヒキガエルを操り、妖術を使いました。

たとえ大蛇が近づこうとも...

羅漢とは悟りに達した聖者のことです。この羅漢は冷たい大気が満ちるなか、山の中で一人静かに目を閉じて瞑想しています。大蛇が口を開けて近寄っても微動だにしません。伸びた髭と浮き出たあばら骨が、この羅漢が瞑想している時間の長さを物語っています。

燃やしているのは仏像!?



酒井抱一「絵手鑑」のうち「丹霞焼仏図」江戸時代(19世紀) 後期
Danxia Burning Buddhist Statues, from E-tekgami (Picture Album), By Sakai Hoitsu

たき火をしているのは中国唐代の僧・丹霞和尚です。丹霞は洛陽にある慧林寺の仏像を燃やしてしまいます。お寺の住職は丹霞を咎めますが、丹霞は偶像崇拜の無意味さを指摘し、やり返してしまいます。

ニヤリと笑うお坊さん



国宝 因陀羅筆・梵石梵瑠題詩「禅機図断簡 智常禅師図」元時代(14世紀) 前期
National Treasure, Priest Zhichang, from the Segment of Zen Paintings Leading to Enlightenment, By Yintuoluo

樹の下に座る老僧・智常のもとに、張水部がやってきて教を乞うところを描いています。智常は笑みを浮かべながら、右手の人差し指で進むべき道を指し示しています。悟りを得るきっかけを描いた作品を禅機図と呼び、ここでは禅僧との問答が禅機=悟りのきっかけとして表されています。

フシギ? 不気味? 道釈画の世界

神さま仏さま、習合!

見てわかる! 神さまと仏さまの対応関係



重要美術品「春日宮曼荼羅」南北朝時代(14世紀) 後期
Designated Important Art Object, Mandala of Kasuga Shrine

仏さまが人々を救うために神さまの姿を借りて人の世界に現れることを、本地垂迹と言います。この作品には、春日社の神仏の本地垂迹関係が描かれています。春日社の風景を描いた宮曼荼羅に、本迹曼荼羅、鹿曼荼羅の要素を合わせ持った春日曼荼羅の集大成とも言える作品です。

鏡を背負った空飛ぶ鹿!



重要美術品「春日鹿曼荼羅」室町時代(16世紀) 前期
Designated Important Art Object, The Kasuga Deer Mandala
春日明神の使いとされる神鹿を描いています。春日明神が東国の常陸国・鹿島から鹿に乗って御蓋山に飛来したという伝説に基づいた作品です。